



国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

教育研究支援部 企画総務課 広報涉外係

〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916-5(けいはんな学研都市)

TEL:0743-72-5026 / FAX:0743-72-5011

E-mail:s-kikaku@ad.naist.jp

<http://www.naist.jp>



# 大学院をどう選ぶか

2011-2012

＜大学ランキングトップクラスの実力＞

国立大学法人総合評価 全国1位

「研究水準」ランキング 全国1位

「教育水準」ランキング 全国1位

「ISI論文引用度指数」 大学1位



国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

# 大学ランキングトップクラスの実力

## 教育・研究

奈良先端大の教育・研究は次のような高い評価を受けております

### 1. 国立大学法人総合評価

(文部科学省実施第1期中期目標・中期計画期間に係る業務の実績に関する評価)

平成21年度に文部科学省が実施した国立大学法人の初の評価で、研究水準、教育水準とも高い評価を得、総合評価で86ある国立大学法人中、No.1の評価を獲得しました。



### 2. 「研究水準」ランキング 「教育水準」ランキング

『週刊東洋経済』(2009年10月24日号、東洋経済新報社発行)  
「特集／本当に強い大学2009」

第1期中期目標の期間(2004~2007年度の4年間)を対象に国立大学法人評価委員会が行った目標達成状況に関する評価結果を点数化し、大学ごとの総合平均点とともにランキングされており、国立大学の「研究水準」ランキング、「教育水準」ランキングの両方で、1位となりました。



### 3. ISI論文引用度指數

総合	
動植物学分野	
微生物学分野	
生物学・生化学分野	

(朝日新聞社2012年版大学ランキング)

米国のISI-トムソンサイエンティフィック社のデータベースに基づき、論文の引用度指数が算出されており、国公私立大学の中で総合1位、5分野で3位以内にランキングされました。



### 7. 文部科学省特別教育 研究経費によるプログラム

文部科学省特別教育研究経費とは、新たな教育研究ニーズに対応し、各国立大学等の個性に応じた意欲的な取り組みを重点的に支援することを目的とするもので、本学は次の5件のプロジェクトが採択されました。

- ・グリーンフォトニクス研究教育推進拠点整備事業(平成23年度から5年間)
- ・国際共同研究と連動したバイオ・ナノ・IT分野大学院教育の国際展開イニシアティブ(平成23年度から5年間)
- ・産学連携・分野横断による実践的IT人材養成推進事業(平成23年度から5年間)
- ・植物科学グローバルトップ教育推進プログラム(平成22年度から5年間)
- ・アンビエント環境知能研究創出事業(平成21年度から5年間)



### 8. 若手教員(37歳以下)割合

35.6%(全国平均21.4%)



### 4. 科学研究費補助金採択件数 科学研究費補助金配分額

<教員一人当たり>

(第87回総合科学技術会議 内閣府調査)

科学研究費補助金は、学術研究の発展に寄与する独創的・先端的な学術研究に与えられる競争的研究資金であり、本学教員一人当たりの「採択件数」、「配分額」で国立大学中1位となるなど常にトップクラスに位置しています。

### 9. 教育研究環境に対する高い満足度

- ・本学を総合的に評価して、良い学校だと思う: 92.3%
- ・研究や実験のための設備が充実している: 91.2%
- ・教授やスタッフが、研究者として優秀である: 86.6%
- ・研究資金が豊富であった: 86.1%
- ・奈良先端大に入学したことによって成長した: 85.2%
- ・修了後の進路や就職先について満足している: 84.6%
- ・研究内容はおもしろかった: 82.6%

平成20年度修了生アンケート結果  
満足度「非常にうそう思う」「わりとうそう思う」「やううそう思う」の合計割合



## 産官学連携

奈良先端大の産官学連携は次のような高い評価を受けております。

### 1. 知財功労賞

<経済産業大臣表彰(普及貢献企業)>

「知財功労賞(産業財産権制度活用優良企業等表彰)」は、産業財産権制度の普及・啓発活動を通じて、その発展に功労のあった企業等を表彰し、これを公表することにより産業財産権制度関係者の士気高揚を図り、国民の一層の理解と協力を得、もって産業財産権行政の円滑な遂行を図ることを目的とするもので、本学は平成23年度に経済産業大臣表彰(普及貢献企業)を受賞しました。大学そのものが表彰されるのは本学がはじめてです。



### 3. 文部科学省 大学等産学官連携 自立化促進プログラム

大学等の研究成果を効果的に社会につないでいくため、国際的な産学官連携活動や特色ある産学官連携活動の強化、産学官連携コーディネーター配置等の支援により、大学等が産学官連携活動を自立して実施できる環境の整備を図ることを目的とした支援事業。本学産官連携推進本部が「国際的な産学官連携活動の推進」の実施機関(全国17機関の1機関)に採択されています。



### 2. 特許ライセンス収入 大学発ベンチャー数 研究経費

<教員一人当たり>

(第87回総合科学技術会議 内閣府調査により算出)

教員一人当たりの「特許ライセンス収入」、「大学発ベンチャー数」、「研究経費」で国立大学中1位になりました。その他の項目でも国立大学中上位に位置しています。



## 多彩で手厚い学生支援

外部資金や科学研究費補助金などの多様な研究費を活用して、研究の担い手としての大学院生の手厚い学生支援に努めています。

### 教育・研究活動への支援



<ティーチング・アシスタント(TA制度)>

優秀な学生に教育トレーニングの機会を提供するため、平成6年度から実施しています。

- 採用数(平成22年度): 270名
- 一人当たり平均支援額(平成22年度): 23万円

<リサーチ・アシスタント(RA制度)>

優秀な学生の研究者としての研究遂行能力を育成するため、平成7年度から全国の大学に先駆けて実施しています。

- 採用数(平成22年度): 128名
- 一人当たり平均支援額(平成22年度): 75万円



### 国際学会活動等への支援



奈良先端科学技術大学院大学支援財団のほか、外部資金等を活用して、優秀な学生が国際学会等において論文(研究)発表するための費用(渡航費、滞在費等)の助成を行っています。



### 生活支援

<600戸以上の低廉な学生宿舎の確保

(全ての部屋に学内LANを完備)

学生数約1000人に対し、6割以上の学生が入居できる宿舎を用意しています。全ての部屋に学内LANが配置され、宿舎に居ながら電子図書館や国内外の学術研究機関へのアクセスが可能となっています。

<大学借り上げ住宅の確保(入居希望者全員に提供)>  
都市再生機構住宅>

下宿探しの一助として、都市再生機構(UR都市機構)の賃貸住宅を大学が借り上げ、安価で入居希望者全員に提供しています。

### 強力な経済的支援

奨学金、研究奨励金(日本学術振興会特別研究員研究奨励金:月額20万円)、入学料・授業料免除など各種制度により、学生が生活に不安なく、24時間研究に没頭できる強力な支援体制を整えています。